

# 私の涙

---

「君の涙を 見たことが無い」と言われた  
笑ってやり過ぎて 気にしてないふりした私は  
用事があることにして  
みんなと別れて 一人電車で揺られてる  
夕日が眩しいくらいだから 目を伏せてあなたのこと想う

多分知らないよね あなたを大好きだなんて  
あの娘と仲良くしてるから 割り込めるわけじゃないの  
一人部屋に 戻ったらベッドへと倒れこみ  
あなた想っては ただ涙を流すの

私の涙は いつだって溢れているの  
あなたには絶対 見せてあげたりしないんだからね

私が描いていた楽しい日々は  
今は形を変えたけどそこにあるから

ずっとこのままいられればそれで満足  
あなたの笑い顔を 近くで見ることができたらね  
少しだけ悲しいけど  
それでもあなたの笑顔 私のビタミンよ  
大きな体折り曲げ笑う 目尻にはシワをたたえてね

そばにあの娘がいて 一緒に笑っているけど  
私の笑顔が 引きつったりしてはいないよね 大丈夫  
時々でいい 二人で話したいな  
それだけで私の気持ちは すぐ嬉しくなるから

そのうち私も 心変わりしてくのかな？  
今のところ ちっともそんな気配すら見えないけどね

私の涙は いつだって溢れているの  
あなたには絶対 見せてあげたりしないんだからね